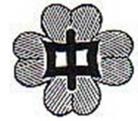




小原小・中学校 学力向上だより



「力」をつける！

平成30年11月28日号
文責 校長 成瀬 啓

1. 子どもに「力」をつけるために、共に進みましょう！

12月を目の前にして、小原の山々にも白い雪がちらつくようになり、紅葉の赤色・朱色・黄色と雪の白のコントラストがきれいな季節になりました。そのような中、子供たちは確実に一步一步歩み続けています。保護者の皆様も日々の子どもの成長を感じながら、生活をしているのではないのでしょうか？

さて、先日の学習参観日には、小・中学校それぞれの学力向上策についてご意見をいただきましたこと、御礼申し上げます。学校では、放課後学習等の具体的な取組を行い始めました。また、生活習慣や学習習慣を確立するための「生活カード」の取組も軌道に乗りかけてきたところです。学習参観日の際にもお話ししましたが、子どもの力を確実に高めていくためには、家庭と学校が車の両輪として、共に走り続けることが大切です。そこで、今日から子どもに「力」をつけるためのお話を少しずつしていきたいと思っておりますので、どうぞお読みください。そして、ご意見をお願いします。

2. 家庭と学校は車の両輪です！



学習参観の日に、このような図をお見せしました。なんといっても、子どもが「学校が楽しい！」「勉強が楽しい！」と思うことが一番です。そのために家庭と学校は、様々な働きかけを行っていきます。学校は、集団生活を行いながら社会性を形成するとともに、日々の授業を通して学習習慣を確立していきます。その際に、質の高い授業を通して、子供たちの学ぶ意欲や喜びを醸成し、力を付けていきます。今本校の先生方は、授業力を磨くべく、学校全体でより良い授業に向けて日々努力しています。

一方、家庭での教育は、すべての教育の出発点です。家族のふれ合いを通して、子供が、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的な倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。しかし、私も二人の子育てをしてきましたが、仕事と子育ての両立の難しさは、よく分かります。忙しくて時間的・精神的ゆとりを持たない状況もよく分かります。だからこそ、学校と家庭との協力や家庭同士の協力がとても大切だと思います。子供たちにとって「家庭」は安らぎのある楽しい場所であり、社会へ巣立っていくための欠かせない場所です。また未来に向かって様々な力を付ける場所です。自分の子供の、小原小中の子供たちの力を高めるために、一緒に歩いていきましょう。次号から、具体的なお話をしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。